

科目名	テクノロジー実習 1						年度	2025	
英語科目名	Technology practices 1						学期	前期	
学科・学年	ロボット科 1年次	必/選	必	時間数	90	単位数	3	種別※	実習
担当教員	寺澤	教員の実務経験		有	実務経験の職種		電子回路技術者		

【科目の目的】

ロボットビジネスに必要な知識、技術を身に着けます。

【科目の概要】

ロボットや機械の仕組みや製作法を理解するうえで必要になる「ものづくり」の基礎技術を実習形式で体験的に学びます。

【到達目標】

ロボットを開発、設計、製造するために必要な知識や技術、対応力を身に着ける

【授業の注意点】

実践的に知識や技術を身に着けるため、遅刻等はせずに積極的に課題を解決していくように心がけること

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	実験実習の目的、理論、使用機器、実験方法、結果の検討、全てを理解している。		実験実習の目的、理論、使用機器、実験方法、結果の検討を知っている。		実験実習の目的、理論、使用機器、実験方法、結果の検討、全てを理解していない。
到達目標 B	使用機器、実験方法からの確に配線することができる。		使用機器、実験方法から配線することができる。		使用機器、実験方法、からの確に配線することができない。
到達目標 C	測定結果から適切なグラフを作成することができる。		測定結果からグラフを作成することができる。		測定結果から適切なグラフを作成することができない。
到達目標 D	実験実習の目的、理論を理解、得られた結果を客観的にまとめ、結果の検討ができる。		得られた結果から、結果の検討ができる。		実験実習の目的、理論を理解、得られた結果を客観的にまとめ、結果の検討ができない。
到達目標 E	グループ内で自主的に行動し、実験実習を円滑に進めることができる。		グループ内で決められた役割を果たすことができる。		グループでの実験実習に参加できない。

【教科書】

プリント配布

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題（100%）毎回提出の課題で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		テクノロジー実習 1			年度	2025
英語表記		Technology practices 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	注意点を確認	1 ガイダンス	受講注意点	3	
2	エレクトロニクス系課題	電気回路	1 電気回路	回路理論確認	3	
3	エレクトロニクス系課題	半導体素子	1 半導体素子	特性動作測定	3	
4	機械系課題	加工技術	1 機械加工	工具取り扱い	3	
5	機械系課題	組み立て技術	1 組み立て	組み立て	3	
6	プログラム系	アルゴリズム	1 プログラム開発	プログラム アルゴリズム	3	
7	プログラム系	プログラミング	1 プログラム製作	デバック	3	
8	総合演習	ロボット設計	1 設計	課題の指定と解析	3	
9	総合演習	ロボット製作	1 加工	ロボット組み立て	3	
10	総合演習	ロボット評価	1 審査	課題と解決策の評価	3	
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等